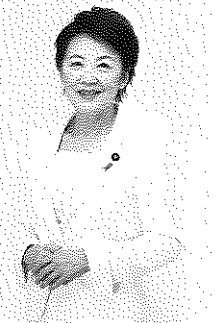


新春のご挨拶

参議院議員

山谷 えり子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
偕行社の諸先輩方ならびにご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

新年を迎えるにあたり、御皇室の弥栄と五穀豊穡、天下泰平、国土安穩、万民豊樂を祈念いたします。

癸卯（みづのと・う）の本年は、これまでが努力が花開き、実りはじめの年と言われています。

円安と資源高、そして物価上昇による家計への影響など不安も長引いておりますが、一日も早く日々の暮らしに希望の光がさす一年となりますよう願っております。

近年、中国、ロシア、北朝鮮という我が国の隣国による国民の生命、財産、領海・領土の安全を脅かす事案が後を絶ちません。

昨年11月に排他的経済水域（EEZ）内に落下したものと推定される北朝鮮

による弾道ミサイルは、軌道に基づいて計算すると、アメリカ本土が射程に含まれます。

岸田首相が防衛費について、5年以内に緊急的に強化を進める必要があるとし、2027年度に国内総生産（GDP）比2%にするよう指示しましたが、防衛費の増額や反撃能力についての世論調査でも賛成が六割前後を占め、国民の理解が得られてきています。

世界情勢が緊迫する中、国民一人ひとりの危機意識も大きく変化していることがうかがえます。

あわせて私からは、第一線で国を護つていただいている隊員の生活・勤務環境の改善にも一層細やかな視点で取り組んでまいれる所存です。

さらに外交安全保障だけではなく、重要物資の安定的な供給の確保や先端技術開発支援などの「経済安全保障」、良質な食料を合理的な価格で入手できるように「食料安全保障」も喫緊の課題です。

こういった国際社会の急激な変化に対応するには、国においても地方においても強いリーダーシップが必要とされてまいります。

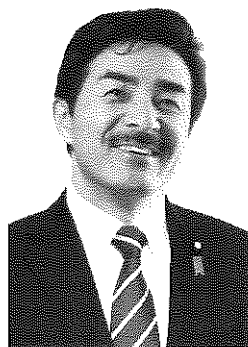
今春には統一地方選が予定されていますが、一人でも多くの情熱をもった良識ある地方議員が皆様の手によって議会へ送り出されることを切に望んでおります。

結びにあたり、国家の安寧と皆様のご健康とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭の挨拶

参議院議員

佐藤 正久



新年あけましておめでとうございます。

旧年は貴会員の皆様のご支援、ご協力を頂きまして議員活動に専念できました。厚く御礼申し上げます。

昨今の安全保障上の重大事といえはロシアによるウクライナ侵攻ですが、このウクライナ事案からの教訓は三つあると考えています。

一つ目は、「自国の防衛力の強化」。これは至ってシンプルで、自分の国を守るには防衛力の強化が必要だ、ということ。

二つ目は、「同盟力の強化」。今回のウクライナ事案でも明らかかなように、残念ながら国連は無効です。平和維持軍の派遣にも、自ら起こした戦争で拒否権を行使できないよう国連憲章を改

正するにも、常任理事国すべての同意が必要になる。そのため、相手国が常任理事国のメンバーであれば、国連は機能不全に陥ります。必然的に頼れるのは同盟国だけです。

そして、なかでも重要なのが三つ目の「他国は、自国を守らない国には支援しない」ということです。

日本は、核保有国である中国、ロシア、そして北朝鮮が三正面に位置し、地政学上、最も危険な場所にあると言え、自国の防衛強化努力をする必要性が増しています。

米中対立の深刻化に伴い、「台湾有事」の可能性が取り沙汰されていますが、日本の防衛力強化、ならびに、米国やオーストラリア、あるいはカナダやイギリス、フランスなどの自由主義陣営勢力の総和が、中国の台湾侵攻能力や軍事力を上回る体制を整えておく必要があります。

この緊迫した情勢に対し、「憂いなければ備えなし」ではなく「備え有れば憂いなし」となるよう、佐藤は今後政治の場で国防に邁進して参ります。これからも貴会員の皆様からご指導・ご鞭撻くださいますようどうぞよろしくお願い申し上げます。